

第七十四回 昭和十四年度一般會計歲出ノ財源ニ 特別委員會會議事速記録第十號

付託議案(追加)

北海道殖産銀行法中改正法律案

金資金特別會計法中改正法律案

昭和十四年三月十日(金曜日)午前十時十七分開會

○委員長(子爵高橋是賢君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、昨日併託サレマシタ二案ノ質疑

ニ入りマス前ニ、赤字公債即チ昭和十四年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外四件ニ付キマシテ、尙御質疑ガゴザイマスレバ、御質問ヲ願ヒタイト存ジマス、若シ御質疑ガゴザイマセスケレバ討論ニ入りマシテ採決ヲシタイト存ジマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵高橋是賢君) 昨日深尾男爵カラノ御質問ガアリマシタノデ、之ニ對スル政府ノ御答辯ヲ先ニ御願致シマス

○政府委員(矢野庄太郎君) 深尾男爵カラノ御質問ニ對シテ、此ノ場合ニ御答へ致サナケレバナラヌノデゴザイマスケレドモ、係ノ政府委員ガ已ムヲ得ナイ差支ガゴザイマシテ、今日出席ヲ致シテ居リマセス、御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレデ適當

ノ機會ニ御答へ致シタイト思ヒマスガ、ソレデ御諒承ヲ願ヘタラト存ジマス

○男爵深尾隆太郎君 承知致シマシタ

○委員長(子爵高橋是賢君) ソレデハ昭和十四年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外四件ヲ一括シテ議題ト致シマス

○藤原銀次郎君 私ハ本案ニ賛成ノ意味ヲ以テマシテ少シク其ノ次第ヲ申述ベタイト存ジマス、御承知ノ通りニ今日此ノ非常時ニ際シマシテ一番大切ナ問題ハ何デアルカト申シマス、第一ニ此ノ公債ノ消化ニ關スル問題デアリマス、其ノ次ガ物價騰貴ニ關スル問題、此ノ二ツハ我ガ國ノ財政經濟ニ於テノ非常ナ重大ナ問題デアルバカリデナク、此ノ非常時局ニ對スル最モ國民ノ心配ヲ致シテ居リマスル所ノ重大問題デゴザイマスルガ、物價問題ハ本法案ニ對シ直接ノ關係ガゴザイマセスカラ、是ハ他日ノ機會ニ讓リマシテ、公債消化ニ關スル問題ニ於キマシテ、私共各委員連日ニ互ッテ政府ノ御意見ヲ承リマシテ、又色々御手數ヲ煩ハシテムツカシイ材料ヲ供給シテ戴キマシテ、質問應答ヲ連日ニ互ッテ重ネマシタ、其

ノ結果茲ニ明カニナリマシタコトハ、即チ我ガ國ノ經濟力ガ非常ニ旺盛デアアル、國民ノ貯蓄心ガ豫テ世間デ想像シテ居ル以上ノ好成绩ヲ示シテ居ルト云フ事實ヲ數字上ニ發見致シタコトハ、各委員共ニ非常ニ満足スル所デアリマシテ、私共ガ豫テ心配ヲ致シテ居リマシタコトガ茲ニ一掃セラレテ、斯ウ云フ情勢ヲ以テスレバ、今日迄相當ニ巨額ナ公債ヲ發行セラレマシタケレドモ、是ガ無事ニ消化セラレ少シモ支障ガナカッタト同時ニ、今後又巨額ノ公債ヲ發行セラレマシテモ、所謂巨額ノ赤字公債ヲ發行セラレマシテモ、其ノ消化ニ付テハ大シテ心配ハ要ルマイ、何カ非常ノ特別ナ豫想外ノ事件デモ突發スレバ兎ニ角、サウ云フコトガナケレバ、今後五十億トカ六十億トカ云フヤウナ巨額ノ公債ヲ發行セラレルヤウニナリマシテモ、其ノ消化ニ付テハ大シテ心配ハナイデアラウト云フコトガ、段々ニ明瞭ニナッテ參リマシタ、即チ政府ガ豫テ主張セラレテ目標トシテ御ヤリニナリマシタ所ノ、八十億圓ノ國民ノ貯蓄ヲ目標トシテ貯蓄奨勵ヲ努メテ御イデニナリマシタガ、其ノ八十億ノ貯蓄奨勵ハ殆ド目的ヲ達セラレ

マシテ、極ク控へ目ニ見マシテモ七十億、七十五億圓位ノ貯蓄ガ出來テ、昨年度ノ貯蓄ト云フモノハ増加シテ居ルコトガ明瞭ニナッテ參リマシタ、之ヲ極ク樂觀的ニ見ルト、八十五億圓位ノ貯蓄ガ増加シテ居ルト云フヤウナ數字ニ相成ツテ居リマスノデアリマシテ、我々經濟界ニ身ヲ處シテ經濟ノ事情ニ稍通ジテ居ルト思ッテ、居リマスル者デモ、斯クノ如キ巨額ナ貯蓄ガ昨年度ニ於テ増加シテ居ルトハ思ッテ居ラナカッタノデアリマス、色々ノ書類ヲ拜見シテ見テ其ノ事實モ確カメ得マシテ、私共モ非常ニ満足致シテ居ル者デアリマスガ、此ノ方針ヲ以テ致シマシタナラバ、明年度ハ國民ノ貯蓄ガ百億以上、百二十億位ニ達スルコトハ大シタ難事デモナイヤウニ存ジテ居リマスル、サウ云フ工合ニナッテ參リマスレバ、今後政府ガ發行セラレマスル所ノ赤字公債モ、亦生産擴充ニ要シマスル所ノ色々ナ資本モ、之ヲ供給シテ綽々トシテ餘裕ガアルト云フヤウナコトガ豫想セラレルノデアリマシテ、私共ハ非常ニ満足シテ居リマスルヤウナ、次第デアリマス、就キマシテハ、先般來當委員會ニ於テ各委員ヨリ度々

第四部第一二類 昭和十四年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案特別委員會會議事速記録第十號 昭和十四年三月十日

政府ニ要望致シテ居リマスルヤウニ、政府ニ於カレマシテモ、一層此ノ貯蓄獎勵及公債ノ民衆化ト云フヤウナコトニ御努力ヲ願ヒマシテ、我々ノ見ル所ニ依ルト、如何ニモ政府ノ今日迄ノ御努力ハ、從來ノ大藏省ノ傳統的ノ御方針ニ副ツテ居リマスルコトハ結構デアリマス、又非常ニ堅實ナ且上品ナ御ヤリ方デアツテ、其ノ點ニ於テハ非常ニ満足致シテ居リマスルガ、併シ時勢モ斯クノ如ク變化シテ參ツテ居ルノデアリマスルカラ、此ノ貯蓄獎勵トカ公債ノ民衆化トカ云フヤウナコトニ付キマシテハ、更ニ一層ノ、一段ノ御努力ヲ願ヒマシテ、サウシテ一方ニ於テハ所謂通貨ノ膨脹ヲ防ギ、一方ニ於テハ公債ノ消化ヲ容易ナラシメ、又一方ニ於テハ生産擴充ノ資本ヲ滑カニスルト云フヤウナコトニ御努力ヲ願ヒマシタナラバ、一層我が國ノ財政經濟ヲ確實ニ安全ニ致シマシテ、更ニ又此ノ機會ニ於テ海外諸國、動モスレバ我が日本ハ軍事ニ於テハ非常ナ優秀ナ強國デアルケレドモ、財政經濟ニ於テハ如何ニモ貧弱ナ、今ニモ倒レサウナヤウナ噂サヲ立テマシタリ、又ハサウ云フコトヲ信ジテ日本ニ經濟上ノ壓迫ヲ加ヘテ經濟封鎖デモ致シタナラバ、日本ヲ叩クコトハ一番容易デアルト云フヤウナ思想ヲ

持ツテ居ル海外ノ諸國ニ對シテ、我が日本ノ經濟ト云フモノハサウ弱イモノデナイ、斯クノ如ク經濟力ハ旺盛デ、國民ノ經濟力ハ旺盛デ、而モ財政ノ基礎モ堅實デアルト云フヤウナコトヲ、海外ノ我が國ノ爲ニ友邦トシテ大イニ努力ヲシテ居リマスル所ノ諸國ニモ之ヲ知ラシメテ、大イニ安心ヲセシメ、又我が國ニ好意ヲ表シテ居リマセヌ所ノ各國ニ對シテモ能ク此ノ内情ヲ知ラシメテ、サウシテ其ノ過チヲ是正セシメルト云フヤウナコトガ、目下ノ場合大イニ必要デアハナカラウカト存ジマス、旁、私共ハ此ノ委員會ノ席ヲ借りマシテ、我が國民ガ斯クノ如ク經濟力ノ旺盛ニナツタコトヲ喜ビ、サウシテ財政ノ基礎ガ斯クノ如ク堅實ニシテ、此ノ澤山ナ赤字公債ヲ消化スルノニ綽々トシテ餘裕ガアルト云フコトヲ、確カメマシテ、大イニ安心ヲ致シマシタ次第デアリマシテ、此ノ昭和十四年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案ニ贊成ヲ致シマシテ、可決致シタイト存ズルノデアリマス、其ノ外ノ四件ニ、付キマシテハ、格別意見ヲ陳述致シマセスケレドモ、政府ノ御提出ニナリマシタ諸案ハ何レモ適當ト存ジマスルカラ、之ヲ可決致シタイト存ジマス

○中村團一郎君 只今ノ藤原委員ノ御意見ニ贊成デゴザイマス

○委員長(子爵高橋是實君) 中村委員ノ御贊成ガゴザイマシタガ、皆サンニ御諮リ致シマス、只今藤原委員ヨリ無修正可決ノ御贊成ノ御演説ガアリマシタガ、御異議ガナケレバ滿場一致デ……

○河田烈君 甚ダ遅刻致シマシテ申譯ゴザイマセヌガ、全部五案一括シテデスカ

○委員長(子爵高橋是實君) 五案一括シテ……

○河田烈君 私ハ甚ダ時間ヲ潰シテ恐縮デアリマスガ、私ハ別ニ意見ガアル譯デハゴザイマセヌガ、先般來ノ質問應答ニ付テ、唯私一個ノ意見トシテ、多少、希望ト云フ程デナク、唯個人デ斯ウ云フ感ヲ持ツタト云フコトヲ一言申上ゲテ置キタイト思ヒマスルガ、宜シウゴザイマスカ

○委員長(子爵高橋是實君) 宜シウゴザイマス

○河田烈君 大變小サイコトデ恐縮デアリマスガ、海軍工廠資金會計法中改正法律案ノ附則ノ但書デアリマスガ、附則ノ但書ノ「其ノ額ハ二千萬圓ヲ超ユルコトヲ得ズ」ト云フコトノ意味ニ付テ、西野委員ト政府委員トノ間ノ質問應答ヲ承ツテ居リマシタノデ

スガ、結局私ハ十分分ラズニ、其ノ理由ガハッキリシナイデシマッタノデアリマス、蓋シ西野委員ノ顔色ヲ見テ居リマシテモ、十分御了解ニナラナカッタノデハナイカト思フノデアリマスガ、サリトテ之ヲドウシヨウト云フ意味デハアリマセヌガ、政府委員ノ御答辯デハ、其ノ額ヲ制限シナイト濫リニナル虞ガアル、弊ヲ生ズルト云フヤウナ風ニ……弊トハ言ハレナカッタデスガ、其ノ意味ハドウモ私ニハ吞ミ込メナイノデアリマスシ、ソレヲ更ニ追究スル必要ハナイノデアリマスガ、但書ハドウモ必要ナイノデアリナイカ、然ルニ其ノ但書ヲ附セラレナケレバナラナカッタト云フノハ、モウ少シ御事情ガアルノデハナイカト察スルノデアリマスガ、ソレヲ敢テ追究シヨウトハ申シマセヌガ、若シ但書ヲ附サナケレバナラヌヤウナ事情デモアリマシタナラバ、將來ドウ云フ意味デ濫リニナル虞ガアルト云フコトニナルノカ、其ノ點十分御實行上御注意アラムコトヲ希望シ、竝ニ若シソレガ必要デナイ、果シテ西野委員ノ質問サレタヤウニ、必要デナイ條文ナラバ、稍、餘計ナ事ヲ附シハシナイカト云フヤウナ感ヲ致シテ居リマスガ、十分御考究アラムコトヲ希望シタイト思フノデアリマス、西野委員ハ御缺席デ

アルヤウデスケレドモ、西野委員が居ラレ  
マシタナラバ、多分私ノ意見ニ御同感デア  
ラレタコトト想像サレノデアリマス、唯  
私ハ個人ノ感シマシタコトカラ申上ゲタノ  
デアリマス、ソレカラ農業再保險特別會計  
法案第二條ノ二番目ノ一般會計ヨリノ受入

金、是ハドウモ私カラ質問シテ伺ツタノデス  
ガ、御説明ハ了解シマシタ、事柄ハ了解  
致シマシタガ、餘リ適當ナ字句デアナイト  
思ヒマス、ソレカラ現ニ其ノ一般會計ヨリ  
ノ受入金ノ性質ヲ承リマス、其ノ内容ハ  
分リマシタガ、政府委員ガ御答辯ニナツタヤ  
ウニ、豫算ニハ、他ノ特別會計ノニ似タ  
ル所ノ會計法ノ附則ニ掲ゲテアルヤウナ  
事項々々ノ受入金モ、恒久的性質ヲ有スル所  
ノ本會計ノ受入金モ、皆臨時部ニ計上シテ  
アルノデアリマス、一見スルニ法制ト本質  
ト矛盾ヲ生ズルヤウナ感ガ致シマス、併シ  
ソレハ重大ナ事デアナイト思ヒマスカラ、  
之ヲドウシヨウトハ思ヒマセヌケレドモ、更  
ニ斯ウ云フヤウナ例ガ他日起リマシタ時ニ  
之ヲ例トシテ引用セラレナイデ、相當ノ御  
考究アラレタ方宜イヤウニ存ジ、島嶼ガ  
マシウゴザイマスガ、注意的ノ希望ヲ此ノ  
際申上ゲテ置キタイト思ヒマス、其ノ他ハ  
別ニ何ニモ異存ハゴザイマセヌ、藤原委員

ノ御意見ニ賛成致シマス

○委員長(子爵高橋是賢君) 河田君ニ御諮  
リ致シマスガ、只今ノ御質疑ハ如何デセウ  
カ、採決ヲ先ニ致シマシテ、後デ政府委員  
カラ……

○河田烈君 私ハ質疑デヤゴザイマセヌ、  
唯先般來ノ質問應答ノ結果、私ノ感シマシ  
タコトニ付キマシテ、之ヲ修正スルトカド  
ウトカ云フ意味デヤゴザイマセヌガ、唯私  
個人ノ意見トシテ討議ノ意味ニ於テ申上ゲ  
タニ過ギマセヌ、答辯ニ及ビマセヌ

○委員長(子爵高橋是賢君) 今アナタノ御  
意見デスト、本豫算ノ臨時部ノ方ニ此ノ支  
出ヲ計上シテ置キナガラ、一方ニ於テハ、  
一般會計ヨリ受入レテ居ルノハ恒久的ナモ  
ノダト云フノハ、不都合デヤナイカト云フ  
御意見デスネ

○河田烈君 其ノ點ハ餘リ感心シタ立テ方  
デヤナイト思ヒマス、併シ別ニ御辯明ヲ伺  
ハナクテモ宜シウゴザイマス、別ニサウ質  
問應答スル程ノコトデヤゴザイマセヌ、内  
容ハ分ツテ居リマスカラ、サウ云フ必要ハナ  
イト思ヒマス

○委員長(子爵高橋是賢君) ソレデハサウ  
御諒承願ヒマシテ……  
○河田烈君 唯私ノ委員トシテノ意見ヲ申

上ゲタニ過ギマセヌ

○委員長(子爵高橋是賢君) ソレデハ此ノ  
五案トモ藤原委員ノ御説ノヤウニ、無修正  
可決ト云フコトニ致シテ御異議ハゴザイマ  
セヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕  
○委員長(子爵高橋是賢君) ソレデハ滿場  
一致可決ニ決定致シマス  
○政府委員(谷口恒二君) 昨日陸軍ノ作業  
會計法、造幣局ノ會計法等ニ付キマシテ御  
質問ガアリマシタ趣デアリマスガ、其ノ節  
御答ヲ致シマセヌデシタ爲、此ノ際御許ヲ  
得テ御答ヲ致シタイト思ヒマス、其ノ際御  
尋ネデアリマシタ如ク、此ノ作業會計法ト  
云フモノガゴザイマシテ、其ノ外ニ別ニ陸  
軍作業會計法ト云フモノガゴザイマス、ソ  
レカラ造幣局特別會計ト云フモノガ此處ニ  
アルノデアリマス、先ツ此ノ作業會計ノ沿  
革カラ簡單ニ申上ゲマスト、作業會計法ハ、  
其ノ制定當時ニ於キマシテハ造幣局、印刷  
局、富岡製絲所、電信燈臺用品製造所、廣  
島嶼山ト云フ一ツノ作業所ノ會計デアッタ  
ノデアリマス、ソレデアリマスカラ、造幣  
局ノ特別會計ト申シマスモノハ、作業會計  
法ノ制定當時ニ於キマシテハ、此ノ作業會計  
法ニ依ツテ規律ヲ致サレテ居ツタノデアリマ

スガ、造幣局ノ特別會計ガ從來ノ貨幣整理  
資金特別會計ヲ廢止致シマシテ、其ノ資金  
ヲ造幣局特別會計ノ資金ト致シマシテ繼承  
致シマシテ、大正四年六月、實施ハ大正五  
年度デアリマシタガ、作業會計法中カラ獨  
立致シマシテ、現在ノ造幣局特別會計法ト  
云フモノガ出來タノデアリマス、此ノ沿革  
ノ點カラ申シマシテ、造幣局特別會計ハ其  
ノ資金ヲ持ツテ居リマスル關係上、作業會計  
法ノ外ニ、別ニ造幣局特別會計法ト云フモ  
ノヲ形成スル必要ガアルノデアリマシテ、  
逆ニ申シマスルト、資金ヲ持ツテ居リマス  
ル造幣局特別會計ト致シマシテハ、之ヲ作  
業會計法ノ中ニ造幣局ノ特別會計ヲ持込ム  
ト云フコトハ、是ハ難イコトデアルト思フノデ  
アリマス、其ノ次ニ陸軍ノ作業會計法、ソレカ  
ラ作業會計法、此ノ二ツノモノヲ合一スルコ  
トハ出來ナイカト云フ御尋ネデアリマシテ、  
此ノ方ガ要點ノ如クニ拜承致シテ居ツタノデ  
アリマスガ、是ハ實ハ私共研究ガ未熟デゴザ  
イマシテ、尙研究ヲ致サナケレバナラスト思  
フノデアリマスガ、當初ヨリ二ツノ會計法ニ  
分レテ居ツタノデアリマスガ、作業會計法ガ  
明治二十三年法律第十七號、ソレデ陸軍作  
業會計法ガ同年第十八號ト、二ツニ分レテ  
居リマシテ、海軍ノ火藥廠、燃料廠、是モ多

少沿革ガゴザイマスガ、其ノ方ハ作業會計法ノ中ニ入レテ居リタノデアリマス、此ノ現在ノ海軍火藥廠、海軍燃料廠ノ前身タルベキモノハ、初メカラ作業會計法ノ中ニ入ッテ居リタノデアリマス、只今ノ出來上リマシタ法律ヲ見マシタ所ニ依リマスレバ、此ノ作業會計法、陸軍作業會計法ト云フモノハ、其ノ會計ノ建方等大體同一デアリマシテ、而モ此ノ二ツノ會計法ノ尙細カイ點ヲ規定致シテ居リマスル所ノ會計規則ニ付キマシテハ、作業會計規則ト云フモノガ兩者ニ共通ニ使ハレテ居ルノデアリマス、作業會計規則ト云フモノニ於キマシテ、「作業所トハ印刷局、海軍火藥廠、海軍燃料廠、陸軍造兵廠及千住製絨所ヲ謂フ」ト云フコトニ相成ッテ居リマシテ、陸軍ノ作業會計ハ其ノ他ノ作業會計ノ法律トハ別デアリマスケレドモ、會計規則ニ於テハ一ツノ會計規則ニナッテ居ルト云フ關係デアリマス、只今申上ゲマシタル如ク、陸軍作業特別會計ハ他ノ作業會計ト會計ノ建方ハ大體同一デアリマスルニ拘ラズ一ニ一條文ノ點ニ於テハ異ル點モアリマスガ大體同一デアリマスルニ拘ラズ、當初ヨリ斯ウ一緒ニナッテ居ラスノデアリマシテ、是ハ合一スルコトガ出來ルノデハナイカト云フヤウニ

考ヘテ居ルノデアリマス、昨日ノ御尋ニ對シマシテ甚ダ未ダ熟セザル御答デアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、可能ナリヤ否ヤ其ノ點ニ付キマシテ、將來十分考究スルコトニ致シタイト思フノデアリマス  
○政府委員(相田岩夫君) 昨日稻畑サンカラ御尋ノゴザイマシタ「フランス」ノ公債ノ日本ニ於ケル發行ノコトニ付テ御答ヲ申上ゲマス、日本デ歐洲大戰中「フランス」ノ公債ヲ發行致シマシタノハ三回ゴザイマス、一回ハ大正六年ノ七月ニ五千萬圓發行致シマシテ、是ハ民間デ引受ケマシテ、二回借換ヘテ大正十二年ノ七月ニ全額一時ニ現金償還ニ相成ッテ居リマス、モウ一件ハ、大正七年ノ十一月ニ同ジク民間引受デ五千萬圓發行致シマシテ、大正十年ノ十一月ニ現金償還ニナッテ居リマス、以上申上ゲマシタ二口ハ「フランス」政府ノ國庫債券デゴザイマス、モウ一件ハ「フランス」政府ノ大藏省證券デゴザイマシテ、大正六年ニ四回ニ合計二千六百二十四萬二千圓發行致シマシテ、是ハ一部分ハ民間賣出ニ依リ、残りヲ預金部デ引受ケテ居リマス、是ハ其ノ後數回借換ヘラレマシテ、利息ヲ加ヘテ段々金額ガ殖エテ參ッタノデアリマスルガ、結局大正十二年ノ十月ニ全額償還ニ相成ッテ居リマス、以

上御報告申上ゲマス  
○稻畑勝太郎君 只今最後ニ仰シヤッタ大正六年ノハ、四回デ二千六百萬圓デゴザイマスカ  
○政府委員(相田岩夫君) 四回デ合計致シマシテ二千六百二十四萬二千圓デゴザイマス  
○委員長(子爵高橋是賢君) マダ少シ時間ガゴザイマスノデ、今回併託サレマシタル北海道拓殖銀行法中改正法律案ニ付キマシテ、ソレニ付テノ御質疑ヲ願ヒタイト思ヒマス、デハ只今ノ案ハ衆議院デ附帶決議ナドガ付イテ居リマスサウデアリマスノデ、政府委員ノ方カラ一應御説明ヲ願ッタ方ガ便宜カト思ヒマス  
○政府委員(入間野武雄君) 北海道拓殖銀行法中改正法律案ニ付キマシテハ衆議院ニ於キマシテ慎重ニ御審議ヲ願ヒマシタ結果附帶決議ガ付イテ居リマス、一應讀ミ上ゲマス、「本法案ハ北海道拓殖銀行ノ特異性ヲ消失セシムルノ虞アリ依テ政府ハ本行創設ノ趣旨ニ鑑ミ不動産金融ニ一層ノ力ヲ傾注スヘク嚴重ニ監督指導シ萬遺憾ナキヲ期スヘシ」、斯ウ云フ附帶決議ガ、付イテ居リマス、ト申シマスルノハ、今回ノ改正ニ於キマシテ北海道拓殖銀行ノ營ンデ居リマスル

普通銀行業務ニ關シ只今ノ法律ニ於キマシテハ、御手許ニ差上ゲテアリマス法律案ノ八條ノ三ニ規定シテゴザイマス、普通銀行業務ニ屬スル貸出ハ不動産銀行業務ニ屬スル貸出ヲ超エテハナラナイ、斯ウ云フ規定ガゴザイマス、此ノ制限ヲ撤廢致シマスル結果、不動産金融ノ方ヲ閑却スルノデハナカラウカト云フコトガ主ニナリマシテ、此ノ附帶決議ガ付ケラレタヤウナ次第デアリマス、甚ダ恐縮デゴザイマスガ、此ノ改正ヲ致シマシタ私共ノ心持ヲ一應御聽取リ願ヒタイト存ジマス、北海道拓殖銀行ハ、北海道拓殖銀行法第一條ニアリマスル通り、「北海道及樺太ノ拓殖事業ニ資本ヲ供給スルヲ以テ目的トス」ト、明カニ此ノ法律ノ上ニ於キマシテ目的ガ決メラレテ居ルノデゴザイマス、從ヒマシテ北海道及樺太ノ拓殖事業ノ遂行ノ爲ニ、單リ不動産銀行業務ノミナラズ、普通銀行業務ヲモ營ミ得ルコトニ相成ッテ居ルノデゴザイマス、此ノ點ハ各地ニアリマスル農工銀行ナドト其ノ趣ヲ異ニシテ居リマス重大ナル點デゴザイマス、而シテ此ノ北海道拓殖銀行ハ明治三十三年ニ創設致サレマシテ、其ノ當時ニ於キマシテハ、北海道ニ於キマスル所ノ産業ハ主トシテ農業デアッタラウカト考ヘラレマスルノデゴザ

イマス、明治三十三年ノ統計ニ付テ見マシ  
テモ、總生産額三千八百餘萬圓ノ中デ、農  
産物ガ千三百餘萬圓デアリマシテ、全體  
ノ三十六「パーセント」ヲ占メテ居リマス、  
工産物ニ至リマシテハ五百五十萬圓程度デ  
アリマシテ、僅カニ十四「パーセント」位ニ過  
ギナイ、斯クノ如ク其ノ當時ニ於キマシテハ  
農業時代デアッタラウト思ヒマス

從ツテ

此ノ普通銀行業務ニ屬スル貸出ハ不動産銀  
行業務ニ屬スル貸出ノ五分ノ一ヲ超エテハ  
ナラス、五分ノ一迄ハ宜シイ、斯ウ云フ規  
定ガアッタノデゴザイマス、併シナガラ其ノ  
後北海道ニ於ケル經濟ノ發達、産業ノ進展  
ニ連レマシテ、普通銀行業務ニ屬スル貸出  
ニ對スル制限ガ漸次緩和セラレマシテ、明  
治三十八年ニハ二分ノ一ニナリ、大正五年  
ニハ三分ノ二ニナリ、大正九年ニハ同額迄  
宜シイト云フコトニナリマシテ今日ニ及ン  
デ居ル次第デゴザイマス、而シテ北海道ノ  
現狀ヲ見マスルノニ、開道既ニ七十年ヲ經  
マシテ、昭和十二年ノ統計ニ於キマシテハ、  
總生産額ガ八億九千三百餘萬圓ノ中、農産  
物ガ二億二千八百餘萬圓デアリマシテ、全  
體ノ二十五「パーセント」ニ當リ、工産物ガ  
三億二千九百萬圓トナリマシテ、全體ノ三  
十六「パーセント」ヲ占メテ居リマスル次第

デゴザイマス、即チ北海道モ農業時代カラ  
工業時代ニ移リツ、アルト申スコトガ出來  
ルカト存ジマス、殊ニ一昨年夏事變發生以  
來北海道ニ於キマシテモ事業ガ非常ニ興ッ  
テ參リマシテ、從ヒマシテ短期資金ノ需要  
モ非常ニ増加致シテ參ツクノデゴザイマス、  
只今北海道拓殖銀行ノ貸出ヲ見マスルノニ、  
昨年未現在ニ於キマシテ不動産銀行業務ニ  
屬スル貸出ガ一億一千九百萬圓位ニ相成  
テ居リマシテ、餘力ガ僅カニ七百萬圓ニ過  
ギナイヤウナ狀態デゴザイマス、更ニ北海  
道ニ於ケル各銀行ノ貸出ノ狀況ヲ見マスル  
ノニ、昨年十月末現在ニ於キマシテハ總貸出  
ガ三億九千八百餘萬圓ノ中デ、北海道拓殖  
銀行ノ貸出ハ二億一千餘萬圓ト云フ有様  
デアリマシテ、實ニ五十三「パーセント」ヲ占  
メテ居リマス有様デゴザイマス、又北海道  
拓殖銀行ノ不動産銀行業務ニ屬スル貸出ヲ  
除イテ之ヲ見マシテモ、北海道ニ於ケル總  
貸出ガ二億七千五百餘萬圓ノ中デ、北海道  
拓殖銀行ノ貸出ハ八千八百餘萬圓デアリマ  
シテ、三十二「パーセント」ニ相成ツテ居リ  
マス、此ノ北海道ニ於キマシテ重要ナル地  
位ヲ占メテ居リマスル北海道拓殖銀行ガ、  
法律上ノ制限ノ爲ニ、普通銀行業務ニ屬ス  
ル貸出ガ出來ナイヤウニナリマシテハ、同

地方ニ於ケル金融上實ニ重大ナル問題デア  
リマス、デアリマスルカラ制限ヲ撤廢シヨ  
ウト致シマスル私共ノ考ハ、北海道及樺太  
ノ産業及經濟ノ進展ニ連レマシテ、之ニ即  
應シタ所ノ金融ノ疏通ヲ圖リ、北海道拓殖  
銀行本來ノ使命デアリマス所ノ拓殖事業ノ  
資金ヲ供給スル上ニ於テ、萬遺憾ナカラシ  
メヨウトスル趣旨ニ外ナラナイノデゴザイ  
マス、此ノ改正ニ對シマシテ先程申上ゲマ  
シタヤウニ、サウ云フ風ニ普通銀行業務ニ  
屬スル貸出ノ制限ヲ撤廢シタナラバ、不動  
産銀行ニ屬スル貸出ヲ厭ガツテヤラナイ爲  
ニ、本來ノ使命ニ悖ルヤウナコトガアルノ  
デヤナイカト云フ御懸念ガアルノデアリマ  
ス、御尤ノ御心配デアルト存ズルノデアリ  
マスルガ、若シ北海道拓殖銀行ガ不動産金  
融ヲ閉却スルヤウナコトガアリマスルナラ  
バ、債券發行ノ特權又ハ有シテ活動シテ居リ  
マスル拓殖銀行四十年ノ使命ヲ無視スルモ  
ノデアリマシテ、到底許ス譯ニハ參ラスノ  
デゴザイマス、然ラバ何カ立法ノ方法デ普  
通銀行業務ニ屬スル貸出ヲ抑制スル方法ガ  
アルカト申シマスルト、是ハナカノ法案  
ニ書キマスルコトハムツカシイト存ジマス、  
ト申シマスルノハ、假ニ普通銀行業務ニ  
屬スル貸出ガ不動産銀行業務ニ屬スル貸出

ノ一倍半迄ハ宜イ、又ハ二倍迄ハ宜イトカ  
云フ風ニ行キマスルナラバ、法律ノ上ニ於  
キマシテ明カニ普通銀行業務ニ屬スル貸出  
ニ重キヲ置クト云フ風ニナリマシテ、北海  
道拓殖銀行ガ不動産金融ヲ使命トシテ生レ、  
不動産金融ニ四十年終始シテ來マシタ歴史ヲ  
顧ミマスル時ハ、甚ダサウ云フ風ナ制限ヲ置  
キマスルコトハ面白クナイト存ズルノデア  
リマス、要ハ政府ノ監督ニ依ルノ外ハナイト  
存ジテ居リマス、現ニ朝鮮殖産銀行ノ如キハ  
大正七年制令ヲ以テ制定セラレマシタ特殊  
銀行デアリマシテ、北海道拓殖銀行ト同様  
ニ、不動産銀行業務ト普通銀行業務ト併  
セ營ミ得ルコトニナツテ居リマスケレドモ、  
何等初メカラ制限ヲ設ケテ居リマセヌ、而  
シテ朝鮮ニ於ケル金融ノ狀態、産業ノ狀態  
ニ即シマシテ、極メテ圓滿ニ仕事ガ運行サ  
レテ居ルノデゴザイマス、斯クノ如ク同ジ  
ヤウナ銀行ニ於テ、圓滿ニ監督ニ依ツテノミ  
仕事ガ運バレテ居リマスル所カラ見マシテ  
モ、北海道拓殖銀行モ今回制限ヲ撤廢シタ  
カラト云ツテ、監督サハ十分ニヤリマスレ  
バ、決シテ不動産銀行業務ヲ閉却スルヤウ  
ナコトハナイト存ジマスルシ、又ナカラシ  
メルヤウニ當局ト致シマシテ努力致シタイ  
ト存ズルノデゴザイマス、幸ニ拓殖銀行ニ

ハ三人ノ監理官モアリマシテ、而モ二人ハ北海道ニ勤務シテ居リマス關係上、十分是等ノ點ヲ考慮致シマシテ、不動産銀行業務ニ精進サセマスルト同時ニ、衆議院ノ附帯決議ニ對シマシテモ、政府トシテモ同様ニ考ヘテ居リマスルカラ、サウ云フ方向ニ參リマスルコトニ萬遺憾ナキヲ期シタイト存ジテ居リマス次第ゴザイマス、御審議ノ便宜上、簡單ニ御説明致シマシタ

○委員長(子爵高橋是賢君) 只今政府委員カラノ御説明ガアリマシタガ、御質問ノゴザイマスル方ハ御質問願ヒタイト思ヒマス

○藤原銀次郎君 御説明ニ依リマシテ極メテ明瞭ニ分リマシテゴザイマスガ、此ノ不動産銀行タル本質ヲ保ツテ、サウシテ北海道ノ今日ノ發展ニ即應スルヤウニ、北海道拓殖銀行ノ事業ノ方針ヲ確立シテ行キタイト云フ御趣旨ニ對シテハ私共非常ニ賛成ヲ致ス者デアリマスガ、北海道ノ發展ノ狀況ハ只今モ政府委員ノ御述ニナリマシタ通りデアリマシテ、最近此ノ既往七十年間ノ北海道ハ非常ニ發展致シマシテ、マア殆ド驚クベキ發展ヲ致シマシタコトハ只今御述ニナリマシタ通りデアリマス、殊ニ最近此ノ時局ト共ニ總テノ産業ガ發展シテ參リマシテ、此ノ狀況デ參リマシタナラバ、今後數年ノ

中ニハ非常ニ發展ヲ遂ゲマシテ殆ド脅威的ノ發展ヲ遂ゲル、農業方面ニ於キマシテモ、工業又ハ鑛山業方面ニ於テモ總テ同様デアラウト思ヒマス、サウ致シマス云フト、此ノ拓殖銀行ノ使命ト云フモノハ益、重大ニナツテ參リマスノデ、只今此ノ頂戴シタ資料ヲ拜見シテ見マス云フト、拓殖銀行ガソレダケノ大使命ヲ帶ビテ居ルニモ拘ラズ、資本金ガ非常ニ少イヤウニ思フノデスガ、是ハ何時頃此ノ増資ヲサレマシテ今日ノヤウニナリマシタカ、又今後モウ少シ資本金ヲ増加シテ、サウシテ北海道ノ發展ト共ニ拓殖銀行モ益、擴大シテ大キクナツテ行クト云フヤウナ工合ニ、御考ニナツテ居ルコトトハ存ジマスガ、サウ云フコトニ付キマシテ政府ノ御考ガ御アリニナルコトト存ジマスガ、其ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス、株主勘定三千六百二十萬四千九百圓ト云フノデスガ、何時頃斯ウ云フ工合ニ資本金ガナリマシタモノデアリマスカ、又今後何時頃政府ニ於テ之ヲ増資シテ大キクシヨウト云フ御考ガゴザイマスレバ、サウ云フ御内情モ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(入間野武雄君) 最後ノ増資致シマシタノハ何時デアルカト云フコトハ、ハッキリシタ記憶ハ持ツテ居リマセヌガ確カ

大正九年頃カト存ジテ居リマス、而シテ只今ノ所資本金ハ二千萬圓デゴザイマシテ、其ノ内拂込濟ニナツテ居リマスノハ千二百五十萬圓、マダ七百五十萬圓ノ未拂込ガゴザイマス、從ヒマシテ増資ニ參リマス段階トシマシテハ、先ツ此ノ拂込ノ徵收ノ問題ガ出テ來ルカト存ジマスガ、只今ノ所ハ其ノ點モ考ヘテ居リマセヌヤウナ次第デゴザイマス

○子爵綾小路護君 北海道ニハ普通銀行ハドウ云フ銀行ガアリマセウカ、又支店ガアリマス銀行ノ名ガ分ツテ居リマシタラ、ソレモ一ツ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(入間野武雄君) 北海道ニ本店ヲ持ツテ居リマスル銀行ト致シマシテハ、北門銀行、北海道銀行、北海道殖産銀行、北海道商工銀行、泰北銀行、普通銀行ト致シマシテハ此ノ五ツデアリマス、尙北海道ニ支店ヲ持ツテ居リマスル銀行ト致シマシテハ、特別銀行ニ於キマシテ日本銀行、興業銀行、ソレカラ普通銀行ト致シマシテハ第一銀行、安田銀行、三井銀行、三菱銀行、第五十九銀行、中越銀行、第四十七銀行、十二銀行、樺太銀行、是ダケデゴザイマス

スカラ、資本金ガ分ツテ居リマスレバチョツト伺ヒタイ

○政府委員(入間野武雄君) 北海道銀行ガ七百八十萬圓ノ公稱資本金デゴザイマシテ、五百四十四萬五千圓ノ拂込ニナツテ居リマス、北海道殖産銀行ハ百萬圓ノ公稱資本デアリマシテ、六十萬圓ノ拂込、北海道商工銀行ハ百萬圓ノ公稱資本デアリマシテ二十八萬七千五百圓ノ拂込、北門銀行ハ二百萬圓ノ公稱資本デアリマシテ七十八萬六千八百七十五圓拂込シテ居リマス、尙泰北銀行ハ百萬圓ノ公稱資本デゴザイマシテ七十五萬圓ノ拂込ヲ持ツテ居リマス

○子爵綾小路護君 ソレカラ序デゴザイマスガ、其ノ設立ノ時デゴザイマス、ソレモ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(入間野武雄君) 北海道銀行ハ明治二十七年一月十一日、北海道殖産銀行ハ大正八年十二月五日、北海道商工銀行ハ明治三十四年一月二十三日、北門銀行ハ明治二十九年三月二十六日、泰北銀行ハ明治三十三年四月十五日ト相成ツテ居リマス

○子爵真松友光君 先程政府當局ノ御説明ニ依リマスルト、北海道拓殖銀行ハ不動産ヲ擔保トシテノ貸出ガ一萬二千六百萬圓、不動産ヲ擔保トセザル貸出ガ一億一千九百

萬圓デ、今餘力僅カニ七百萬圓ダト云フ風ニ御陳述ガゴザイマシタガ、此ノ傾向ハ最近殊ニ著シクテタノダラウト存ジマシガ、最近五年間位ハドウ云フ風ナ割合デ、斯カル風ニ不動産以外ノモノヲ擔保トシテ居ル貸付ガ多クナツタカ、何カ其ノ統計デモ御アリニナリマスカ、或ハ其ノ増加率カ何カ御分リデゴザイマスカ

○政府委員(入間野武雄君) 昭和十年カラ申上ゲマス、此ノ不動産銀行業務ニ屬スル貸出ト、普通銀行業務ニ屬スル貸出デゴザイマスガ、便宜上前者ヲ長期貸出、後者ヲ短期貸出ト申上ゲマス、昭和十年ニ於キマシテハ、長期貸出ハ一億三千七百九十五萬五千餘圓、短期貸出ハ七千三百八十八萬五千餘圓、昭和十一年ニハ、長期貸出ガ一億三千四百三十四萬九千餘圓、短期貸出ハ七千九百九十九萬六千餘圓、昭和十二年ニハ長期貸出ガ一億二千七百五十二萬一千餘圓、短期貸出ガ九千九百二十七萬五千餘圓、昭和十三年ニハ長期貸出ガ一億二千六百五十一萬餘圓、短期貸出ガ一億一千九百四十七萬一千餘圓ト相成ッテ居リマス、只今ノハ全部年末現在ト御諒承願ヒタイト存ジマス

○子爵松友光君 只今ノ御説明ニ依ッテ最近數年間ニ於テ非常ニ短期貸付、即チ不

動産ヲ擔保トセザル貸付ノ非常ニ多クナツタト云フコトハ諒承致シマシタガ、北海道ノ如何ナル業務ニ於テ、如何ナル種類ニ於テ……種類ト云ッテハ惡ウゴザイマスカ、ドウ云フ貸付ニ於テ其ノ短期貸付ガ殖エタノデゴザイマセウカ、何カ御分リデゴザイマセウカ

○政府委員(入間野武雄君) 業種別ノ調ハ持ッテ居リマセヌガ、主トシテ手形貸付ガ非常ニ増加ヲ來シテ居リマス、從ヒマシテ、商工業者ニ對スル短期ノ貸出ガ殖エテ居リマス、斯ウ觀測致シテ居ル次第デゴザイマス

○男爵深尾隆太郎君 最前ノ御説明デ制限ヲ今回撤廢スルト云フ御趣旨ハ能ク分リマシタガ、是迄此ノ制限ガアツタ、其ノ制限ヲ撤廢スル迄ニハ二分ノ一ニシ三分ノ二ニシ同額ニスルト云フ風ニ、何ト申シマスカ慎重ニ制限ヲ少シ宛緩メテ來ラレタヤウニ見エマスカ、サウスルト是迄サウ制限ヲ非常ニ必要トシテ居タ理由ト云フモノハ、ドウ云フコトデアリマセウカ

○政府委員(入間野武雄君) 只今迄明治三十八年ニハ二分ノ一ニシ、大正五年ニハ三分ノ二ニシ、大正九年ニハ同額ニシタト云フコトハ、結局北海道ニ於ケル經濟狀態、產

業狀態ガサウ云フ實情ニアツタノデハナカラウカト考ヘテ居リマス、即チ明治三十二年銀行ガ出來マシタ時ニハ農業時代ヲ脱シナイ、寧ロ農業時代ガ中心デアツタト考ヘテ居リマス、漸次工業、即チ「インダストリー」ノ工業、ソレカラ鑛山ノ方ノ鑛業、斯ウ云フモノガ漸次發達シテ參リマシタニ連レテ、段々其ノ制限ヲ緩和シテ、短期貸出ノ分野ヲ廣クシテヤル、斯ウ云フモノト解釋致シテ居リマス

○男爵深尾隆太郎君 是ハ單ニ意見ノ相違デアルカモ知レマセヌガ、最前御話ノヤウニ、監督ガ宜ケレバ一向不動産投資ヲ閑却スルト云フ虞モナイト云フ御話ヨリ考ヘマシレバ、格別制限ヲ斯様ニ設ケナクテモ、商業ノ發達ニ從ッテ漸次手形ニ對スル貸付ガ殖エテ行キ、又一方長期貸付モ適當ニ行ハレルモノデハナイカト考ヘラレル、特ニ斯様ニ慎重ニ、此ノ制限ヲ撤廢迄ニ長イ階段ヲ履ンデ來タト云フノガ、チヨット今ノ御説明デハ臍ニ落チナイノデ、何カソコニ制限ヲシテ置ク必要ガアツタノデハナイカト思ハレルノデスガ、格別ナコトハ無ケレバ無イデ諒承致シマスカ、何カ有ツタナラバモウツ承リタイト思ヒマス

○政府委員(入間野武雄君) 私共ト致シマシテモ、北海道拓殖銀行ハ不動産金融ヲ其ノ使命トシテヤッテ行カナケレバナラナイト云フコトニ付キマシテハ別ニ異論ガナク、寧ロサウアルベキコトヲ期待シ、又監督モ其ノ方向ニ進メテ居リマス、併シナガラ北海道及樺太ノ産業狀態、經濟狀態ガ、漸次農業時代カラ工業時代ニ移リツ、アル、サウシテ其ノ貸出ノ内容ニ付テ見マシテモ、長期資金ヨリモ短期資金ガ勢ガ好ク出テ行キマシテ、爰暫クノ間ニ、此ノ制限ガアリマスレバ短期資金ノ貸出ガ出來ナイト云フヤウナ實情ニ相成ッテ參リマスノデ、此ノ制限ヲ撤廢シテ今回ノ改正案ヲ御察議願ッテ居リマスヤウナ次第デアリマス、然ラバソコデ今迄同格ニナツテ居ッタ制限ヲ撤廢スルナラバ、何カ外ニ立法上制限ノ方法ガナイカドウカト云フ御尋ネカト存ジマス、先程簡單ニ申上ゲマシタノデゴザイマスカ、立法上若シ制限ヲ置クト致シマスレバ、普通銀行業務ニ屬スル貸出ガ、不動産銀行業務ニ屬スル貸出ノ二倍迄デ宜イ、或ハ一倍半迄デ宜イト云フ從來ノヤリ方ナラバ、サウ云フ風ノ制限ヲ置ク外致方ナイカト存ジマス、併シサウ云フ風ナ制限ヲ置キマス、結局不動産銀行業務ヨリモ、普通銀行ノ業務ノ方ガ重クナツテ參リマス懸念ガ法文ノ上ニ



アリマスノデ、私共ト致シマシテハ、北海道拓殖銀行ハドウシテモ不動産銀行業務ヲ其ノ使命トシテ行ッテ貫ヒタイ關係上、法文上明カニ其ノ方ヲ低ク見ルヤウナキ方ヲ致シタクナイ、斯ウ存ジマシテ、制限ハ撤廢致シマスガ、監督上ニ於テ遺憾ナキヲ期シテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ、斯クノ如キ改正案ヲ御審議願フテ居ル次第デアリマス

○男爵深尾隆太郎君 私ノ質問ノ趣旨ヲ少シ御取違ヘニナツテ居ルヤウデアリマス、制限ヲ今日撤廢スルコトニハ異議ハナイノデアリマスガ、何故前ニ制限ガアツタカト云フコトヲ御尋ニスルノデアリマス、普通銀行ノ商業ノ保護ノ爲ニコンナコトニナツタノデハナイカト思ヒマスガ、前ニ撤廢シテ居テモ、今ノ御話ノ通りナラバチットモ差支ナイト思ヒマスガ、前ニ何回ニモ互ツテ斯ウ云フ風ニ少シ宛緩メテ來タコトハドウ云フ譯デアルカ、唯普通商業ノ發達ニ從ツテ段々短期貸出ガ殖エテ來ルコトハ當然ナ話デアル、無闇ニ必要ノナイノニ餘計貸付ケルコトハナイノデアルカラ、制限ガアツテモ、無クテモ……制限ガアツタコトハ何カノ必要ガアツタト思ハレルノデ其ノ點ニ付テ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(人間野武雄君) 御尤ノ御説ト拜聽致シマシタ、此ノ北海道拓殖銀行ガ設立セラレマシタノハ明治二十二年デゴザイマシテ、其ノ當時全國ニ農工銀行ヲ作ツタ時代デアリマス、從ツテ北海道ニ於ケル不動産金融ヲ主トシテ、北海道拓殖銀行ガ作ラレマシタ關係上、先程申上ゲマシタヤウニ、普通銀行業務ハ不動産銀行業務ノ五分ノ一迄ヤツテ宜イト云フ極端ノ制限ヲ付ケテ居ツタノデアリマス、ト申シマスノハ一面ニ於キマシテハ、其ノ當時ノ北海道ハソレデ宜カッタラウト考ヘテ居リマス、併シナガラ先程申上ゲマシヤウニ、漸次進展スルニ連レマシテ、丁度北海道ノ産業及經濟ノ發達ニ連レテ制限ガ漸次緩和セラレテ來タ、斯ウ私共ハ解釋致シテ居ル次第デアリマス

○藤原銀次郎君 私ハ北海道及樺太ノコトニ付キマシテハ少シ承知シテ居ル一人デアリマス、北海道デ近頃非常ニ急務デアリマスノハ、今迄ハ只今政府委員ノ御説明ノ通りニ農業ヲ主トシテ、農民ヲ成ルベク救済スルト云フヤウニ總テノ政策方向ケラレマシテ、水産業トカ農業トカ云フヤウナモノニ上下共全力ヲ擧ゲテ來タノデアリマス、其ノ結果農業ナドハ大イニ發展致シマシテ、今日内地ノ農業ト比較シテ見ルト、餘程長

足ノ進歩ヲ致シテ居ルト云フコトモ事實デアリマスガ、最近ニナリマシテ、是ガ更ニ一轉シテ參リマシテ、農産品ノ加工ヲスルトカ、或ハ水産品ノ加工ヲスルトカ云フヤウナコトニナリマシテ、形勢ガ又變テ參リマシテ、中小工業ト云フモノガ大分發展シテ參ツタノデアリマス、ソコデ今迄ハ農産品デモ其ノ儘輸出シテ居リマシタガ、昨今デハ之ニ加工シテサウシテ輸出スルト云フコトニナリマシテ、大イニ水産物ナドハ其ノ加工ガナカク盛シニナツテ參リマシタ、農業ノ方デモ農産品ノ加工ヲスルト云フコトガ段々發達シテ參リマシタ、尙其ノ上ニ北海道ハ段々ニ發展致シマシテ、住民ノ數モ殖エテ參リマシテ、從來ハ總テノ生活必需品ハ内地カラ買ッテ居リマシタ、内地ノ生

産品ヲ其ノ儘買ッテ居リマシタ、例ヘバ家具ニシテモ疊類ニシテモ、其ノ他總テ衣食住ニ關係シタモノハ鍋釜デモ釜デモ鐵瓶デモ「ストーヴ」デモ何デモ、其ノ外著物デモ、衣食住ノモノノ全部内地カラ買ッテ居リマシタケレドモ、昨今デハソレハ北海道ノ爲ニ不利益ダカラ、北海道ノ農民ノ入用品ハ成ルベク北海道デ作ル方ガ宜カラウト云フヤウナコトニナリマシテ、鍋釜ニシテモ其ノ他家財ニシテモ、家具類ノ如キハ木材ハ非常ニ豊

富デアルノニ、ソレヲ北海道ノ木材ヲ内地ニ一遍入レマシテ、内地デ家具ニ作ッテ其處カラ持ッテ來ル、疊ヲ拵ヘルニシテモ藁ハ澤山北海道デ出來ルケレドモ、内地デ疊ヲ拵ヘテ北海道ヘ持ッテ來ル、鐵ハ御承知ノ通り北海道ニ澤山出來ルケレドモ、鍋釜ニシテモ「ストーヴ」ニシテモ、全部一遍北海道デ出來タ鐵ヲ内地ヘ送ッテ來テ、サウシテ内地デ加工シテ北海道ヘ送ッテ來ルト云フヤウナコトニシテ、北海道ノ生活ノ上カラ云フト、非常ニ不利益デアルカラ、ソレヲ矢張り中小工業ヲ北海道ニ發達サセテ、サウシテ北海道ノ住民ニ安ク生活サセルト云フコトガ必要デアル、斯ウ云フコトニ段々ニ、政府モサウ云フ方針ヲ、長官モサウ云フ方針ヲ御執

リニナルシ、自然ノ經濟上ノ必要ニ應ジテ漸次サウ云フ工合ニ變ッテ參ツタ、從テ今後ハ矢張りモウ少シソレヲ獎勵シテ、中小工業ヲ發達サセテ農産品ヲ加工シテ、少シデモ農民ノ收入ヲ殖シテヤル、ソレカラ水産品デモ成ルベク加工シテサウシテ收穫ヲ多クシテヤル、ソレカラ住民ニハ成ルベク安イ衣食住ノモノヲ供給シテヤルト云フヤウナコトニナツテ參リマシタカラ、從テサウ云フ形勢ニナツテ參リマシテ、ソレガ近頃ニナツテ非常ニ發達シテ參リマシタカラシテ、



銀行業ナドニ於キマシテモ、拓殖銀行ナドニ於テモ從來ノヤウニ農民ヲ救済スルト云フコトノ目的ハ、農民ヲ救済スルノデア

リマスケレドモ、農産品ヲ高ク成ルベク加工シテ、中小工業ヲ起シテ、サウ云フ農産品ヲ加工シテ農民ヲ救済スルト云フ風ニナツテ参リマシタカラ、金ヲ貸スノニ付キマシテモ、土地ヲ建物ナドノ不動産ヲ抵當ニ貸スト云フ、是モ農民ノ救済デアリマスガ、又農産品ヲ加工シテサウシテ行ク、即チ是ハ中小工業ノ方ニナルカラ、農民ノ直接……數字ノ上カラ見ルト、短期貸付ノ方ニナルと思ヒマスガ、中小工業ノ貸付金デアリマス、デアルガ必ズシモ中小工業ノ貸金、短期貸付金ハ農民ノ救済ニナラナイト云フ譯ハナイと思フ、從テ時勢ガ斯ウ云フ工合ニナリマシタカラ、兎モ角モ拓殖銀行ナドニ於キマシテハ、一面ニ於テハ從來ノ通りニ不動産抵當ノ貸金ヲシテ、農民ニ直接利益ヲ與ヘルト云フコトモ必要ダト思ヒマスガ、同時ニ又今與リ掛ッテ居ル中小工業ヲ助ケテ、拓殖銀行ナドニ於テ其ノ固定資金ヲ供給スルカ、若シクハ其ノ融通資金ヲ供給スルト云フヤウナコトニ付テ便宜ヲ與ヘテ、サウシテ間接ニ農民ヲ救済スルト云フ風ナコトガ私共ハ專ラ必要チヤナイカト思ッテ居リマス、ソレニ對

シテ大藏省ノ方ノ御意見モゴザイマシタナラバ承リタイト思ッテ居リマス

○政府委員(入間野武雄君) 藤原サンノ仰セニナルコトハ一々御尤デアルト存ジマス、勿論北海道拓殖銀行ト致シマシテハ、不動産金融機關タルノ從來ノ使命ヲ保持シマスルト同時ニ、北海道及樺太ノ拓殖事業ニ必要ナル資金ノ供給ニ付テハ、監督上萬遺憾ナキヲ期シテ行キタイト存ジテ居リマス、尙此ノ機會ニ、先程北海道拓殖銀行ノ増資ノ御尋ガアリマシタ、私ノ記憶ガ不確カナ爲ニ間違ッテ居リマシタノデ、訂正サシテ載キタイト思ヒマス、沿革カラ申上ゲマスト、明治三十二年ニ銀行ノ出來マシタ時ハ三百萬圓、ソレカラ明治四十年ニ五百萬圓ニ増資致シマシテ、大正六年ニ千萬圓ニ増資致シマシテ大正十一年ノ五月ニ只今ノ二千萬圓ニ増資致シマシテ、拂込モ其ノ時増資ノ四分ノ一取リマシタゲケ今日ニ及ンデ居リマス次第デゴザイマス

○河田烈君 此ノ制度撤廢ハ、ドノ方面ニ斯ウ云フ風ニ融通シナケレバナラヌト云フ、何か或方面ノ特殊ノ要望デモアツタカラノ發動デスカ、一般的ニ唯制限撤廢ノ必要ヲ生ジタト云フダケデスカ、何か具體的ノ要望デモアルノデスカ

○政府委員(入間野武雄君) 今回制限ヲ撤廢致シマシテ普通銀行業務ニ屬スル貸出ヲ樂ニ致シマスコトハ、別ニドノ方面ト特ニ考ヘテ居リマセヌ、北海道及樺太ノ産業状態、經濟状態ガ漸次短期資金ヲ需要シテ参ル方面ニ進ンデ参リマシタノデ、其實情ニ即シテ此ノ制限ヲ撤廢シテ行ク、斯ウ云フ考デゴザイマス

○河田烈君 丁度此ノ八條ノ制限ヲ撤廢シテ、之ニ入レ代ル八條ノ三デスガ、案ニ依ルト大分是ハ興業銀行ノ營業ト競リ合ヒシハシナイカト思ヒマスガ、興業銀行ノ營業トハ直接競リ合ヒスルコトハアリマセヌカトモ札帳ニ設ケテ居リマシテ、大キナ事業金融ハ矢張り興業銀行デアル方ガ妥當デアラウト考ヘテ居リマス、ガ併シ先程藤原サンカラモ御話ノヤウニ、餘リ大キクナイモノデモ相當融資シテヤラナケレバナラヌモノモアルカト思ヒマス、從ヒマシテ或部分ニ於キマシテハ競リ合ヒスルカモ知レマセヌガ、大體興業銀行ハ大キナモノヲ目標トシテ行ッテ貰フ、拓殖銀行ハソレ以下ノモノニ進ンデ行ク方ガ妥當チヤナイカ、斯ウ考ヘテ斯様ニ致シタ次第デゴザイマス

○河田烈君 チョットモウ一度御伺ヒ致シマス、此ノ制限ハ、現行法制ノ八條ノ三ノ割引ナリ貸付ナリガ殖エテ行ク、ソレダケノ資金ガ要ル、其ノ資金ニ付テハ拂込ノ徵收ヲスルトカ、或ハ拓殖債券ヲ發行スルトカ、拓殖債券ハマダ今七八千萬圓位餘裕ガアルト思ヒマス、計算ガ違ッテ居ルカモ知レマセヌガ、一億四百萬圓トアリマスカラ……、何か其ノ御腹案デモアル譯デスカ、併シソレハチョット今御腹案ガアツテモ言ヘナイト云フコトナラバ、殊ニ拂込ノ問題ガアルカラ言ヘナイト云フコトナラバ、此處デハ伺ハナクテモ宜シイ、祕密ノ問題ナラバ強ヒテ伺ハナクテモ……

○政府委員(入間野武雄君) 北海道拓殖銀行ハ、今御示ノヤウニ、一面ニ於キマシテ拓殖債券ニ依ッテ其ノ資金ヲ得テ、一面ニ於キマシテハ預金ニ依ッテ其ノ資金ヲ得テ居リマス、從ヒマシテ此ノ今回ノ普通銀行業務ニ屬スル貸出ノ増加ハ、主トシテ預金ニ之ヲ俟ツヨリ外致シ方ナイト思ヒマス、ト申シマスルコトハ、拓殖債券ニ依リマシテ得タ所ノ資金ハ、不動産金融ノ方ニ振向ケナケレバナラヌヤウニ、北海道拓殖銀行法第十二條ニ、拓殖債券ハ不動産銀行業務ニ屬スル貸出ヲ超エテハイケナイト云フ規定ガアリマスノデ、其ノ方ノ制限ヲ受ケテ居

リマス爲ニ、拓殖債券ニ依ル資金ハ、今回ノ制限撤廢ニ依ル普通銀行業務ニ屬スル貸出ニ振向ケ得ナイト云フコトニ相成ッテ居リマス、從テ普通銀行業務ニ屬スル貸出ハ、先程申上ゲマシタヤウニ主トシテ預金ニ俟ツ、從ヒマシテ先程來色々問題ノアリマス不動産銀行業務ヲ閉却シテ普通銀行業務ヲドシ／＼ヤッテ行ケルカト云フコトモ、此ノ點ニ於テ制限ヲ受ケテ、消極的ニ制限ヲ受ケテ來ルカト存ジマス、預金ハ御承知ノヤウニ銀行ノ力ダケで殖エテ參リマセヌ、一般ノ預金者ガ持ッテ來テ殖エルモノデアリマスカラ、不動産銀行業務ヲ閉却シテ普通銀行業務ヲドシ／＼ヤリタイカラト云ッテモ、ソレハ資金ノ關係デサウ無制限ニハ出來ナイト思ヒマス、從ヒマシテ北海道拓殖銀行法ノ今度ノ制限ヲ撤廢致シマシテモ、其ノ方カラ行ク制限ヲ受ケル、斯ウ考ヘテ居リマス、資金ノ點ニ付キマシテハ別ニ是ト云フ考モゴザイマセヌ、御承知ノ通り近時貯蓄獎勵等ヲ行ヒマシテ預金モ非常ニ増加スル傾向ニアリマスル爲ニ、之ヲ運用シテ普通銀行業務ニ屬スル貸出ヲヤッテ行クト云フコトニ相成ルコトト存ジテ居リマス

○稻畑勝太郎君 拓殖銀行ガ……特殊銀行タル拓殖銀行ガ、普通銀行ノ業務ヲ行フト

云フコトニナリマスルト、從來アル所ノ北海道ノ他ノ普通銀行ト云フモノハ壓迫サレテ迷惑スルヤウナコトハナイノデスカ

○政府委員(入間野武雄君) 御尤ノ御懸念ト拜承致シマス、ガ併シ從來共ニ北海道拓殖銀行ハ普通銀行業務ヲ營ンデ參ッテ居ル次第デゴザイマシテ、從ヒマシテ今回ノ制限ヲ撤廢致シマシタカラト申シマシテ、特ニ普通銀行ヲ壓迫スルト云フヤウナコトハナカラウカト存ジテ居リマス、ト申シマスルノハ、北海道ニ於キマシテ相當大キナ銀行デアリマシテ、普通銀行トシテ最モ活躍シテ居リマスル北海道銀行ニ付キマシテ之ヲ見マスルト、只今預金ガ、昭和十三年十月末現在デ八千八百餘萬圓デアリマシテ、其ノ増加率ガ殆ド最近數年間ノヲ見マスルト、拓殖銀行ノ預金増加率ト相似寄ッテ居リマス、從ヒマシテ拓殖銀行ノ方デ今回ノ制限ヲ撤廢致シマシタカラト申シマシテモ、サウ普通銀行ニ惡イ影響ヲ與ヘルト云フコトハナイト、斯ウ存ジマシテ、此ノ改正案ノ御審議ヲ願ツタヤウナ次第デゴザイマス

○藤原銀次郎君 ドナタモ御質問ガナケレバ、私、今ノ中小工業ノコトヲモウ少シ補足シテ申上ゲテ見タイト思ヒマスガ如何デゴザイマス、宜シウゴザイマスカ

○委員長(子爵高橋是賢君) 宜シウゴザイマス

○藤原銀次郎君 北海道ノ中小工業ガ發達シテ參リマシタコトハ、其ノ實例ヲ一ツ申上ゲテ置キタイト思ヒマスガ、是ハ政府委員ニ御聽キヲ願ツテ置キタイト思ヒマスルノハ、先年私ハ釧路ヘ參リマシタ處ガ、釧路デハ鮭ガ非常ニ獲レマシテ、鮭ガ餘リ獲レ過ギマシテ其ノ始末ニ困ツタ、ソレデ皆肥料ニ變ヘテ居ル、東京ヘ持ッテ參リマス、東京デ以テ最上等ノ鮭トシテ賣レルノデアリマスルケレドモ、餘リ澤山東京ヘ持ッテ來ルト云フト、東京ノ相場ガ惡クナッテシマフカラ、却テ餘計持ッテ來ル方ガ漁業家ノ方ハ損ガ行ク、仕方ガナイカラ、鮭ノ處分ノ途ガナイカラ肥料ニ變ヘテシマフ、ソレデ一本ノ鮭ガ幾ラカト云フト八十錢デス、東京ヘ持ッテ來ルト一本十圓モ二十圓モ三十圓モスル鮭ガ釧路デハ八十錢、ソコデ私共參リマシテモ土地ノ人ハ鮭ヲ食ベナイ、コンナモノヲ食ベテモ御馳走ニナラナイ、ソレデ皆肥料ニスルト云フヤウナ譯デ、私共非常ニ驚キマシテ、斯ウ云フ時ニハ、罐詰ノ製造場ヲ拵ヘテ罐詰ニスル、佃煮ニシテ罐詰ニシテ出ストカ云フヤウナコトニシナケレバ勿體ナクテ罰ガ當ル、又水産家ニ、

サウ云フ事ヲシナケレバイカスデヤナイカト思ッテ段々聽イテ見マシタ處ガ、漸クサウ云フ事ヲ目論ンデサウ云フ事ヲ今始メテ居ラレル者モアルケレドモ、何分ニモ漁業家ナドト云フ者ハ金ガナイカラ、罐詰ニスルト言ッテモ直グ出來ナイノデ今尙發達シナイケレドモ、今後ハ是非ヤリタイト思フト云フヤウナ譯デアリマシテ、是ハ一例デアリマスルガ、一本ノ鮭ヲ八十錢ニシテ肥料ニ變ヘテシマハナケレバナラスト云フヤウナ現狀ノ儘ニシテ置イテハ、如何ニモ漁業家ノ爲ニモ氣ノ毒ダシ、是非ハ罐詰ノ工場デモ拵ヘテ、澤山獲レタ時ニハ罐詰ニシテ置イテ、後カラドシ／＼賣ッテ出ルト云フヤウニシナケレバナラヌ、ソレニハ矢張り其ノ罐詰工場ニ金ヲ貸ス組織ガナケレバ、水産家ノ方デモ……漁業家ナドニハ金ガナイモノダカラ、金ヲ供給シナケレバナラヌ、斯ウ云フヤウナ問題ガ、面倒ナ問題デアリマスケレドモ、出テ參リマシタ、ソレカラモウ一ツハ何ノ問題デ、近頃困ッテ問題デアリマスノハ、北海道ハ皆農民ハ「バラック」ノ家ニ住ンデ居ッタ、壁ノアル家ナドニ住ンデ居ル農民ハ殆ドナイ、市街地ハ殆ド「トタン」葺デ以テヤッテ居ル、是ガ段々輸入禁止デアリマスルカラ「トタン」ガナイ、

瓦ヲ拵ヘヨウト思テモ瓦ヲ拵ヘル所ガナイ、サウスルト壞レタ所ノ家ニ住ンデ居ナケレバナラス、板葺ト云ッテモ警察令デ板葺ハ禁止サレテ居ル、北海道ハ風ガ強クテ非常ニ火事ノ多イ所デアリマスカラ、板葺デアルト大火ニナルモノデスカラ、昔カラ是ハ禁止シテ居ル、「トタン」ハナシ、板葺ハ禁止サレテ、瓦モナイノデスカラ、市街地ノ人ハ非常ニ困ッテ居ル、是ハドウシテモ瓦ノ製造工場ヲ造ッテ、北海道ニ適シタ耐寒ノ煉瓦ヲ造ラナケレバナラス、ソレデ先達テ北海道ノ開發ノ懇談會ヲシマシタ處ガ、名古屋ノ製造家ガ耐寒ノ瓦ヲ造ッテ居リマシテ、矢張り北海道ヘ持ッテ行ッテ耐寒ノ瓦ノ製造場ヲ拵ヘナケレバナラスガ、ソレガ矢張り資金ガナイカラ瓦ノ製造場ガ出來ナイ、ソレデ銀行家ガ貸シテヤルト云フヤウナコトヲシナケレバナラスト云フコトデシタ、鐵ノ如キハ空蘭ノ製鋼所等ガアツテ、アンナニ製鐵所ガ澤山出來テ居ル、其ノ鐵ヲ皆内地ヘ送ツテ來テ、サウシテ内地デ以テ鍋釜ヲ造ッカリ、鐵瓶ヲ造ッカリシテ、サウシテ北海道ノ方ヘ持ッテ行クカラ、北海道ノ農民ハ非常ニ高イ物ヲ買ハナケレバナラス、空蘭ノ製鐵所ノ脇ヘ以テ行ツテ、鍋釜ヲ造ッカリ「ストーブ」ヲ造ル所ヲ拵ヘレバ農民ハ非

常ニ助カルケレドモ、サウ云フ金ガナイト云フ譯デアリマス、中小工業ハ非常ニ必要デアツテ、今モウ此處デ、東京ナドデ御想像ノ付カヌ程必要ナンデアリマス、是ガ北海道ノ住民ニ非常ニ必要デアルトガ益、分ッテ參リマシタケレドモ、北海道ハ新開地デアリマスカラ、金ガナイカラシテ、其ノ資金ヲ得ルト云フコトガ非常ニ困難デアリマスカラ、ソコデ普通銀行ニサウ云フ資金ヲ供給シロト云ッテモナカク、ムツカシイコトデアリマシテ、是ハ内地ト同ジコトデ、中小工業ノ資金ノ供給ト云フコトハナカク困難ノ問題デ、容易ニ出來ナイコトデアアルガ、併シ餘程必要ノコトデアリマスカラ、ソレデ私ノ考デハ此ノ拓殖銀行ノヤウナ特殊銀行ガ政府ノ補助ヲ得テ、今日ニ至ッテ僅カ二千萬圓ノ資本デ是ダケノ大企業ガ出來ルヤウニナツタノデアリマスカラ、此ノ資金ヲ段々ニ殖シテ、サウシテ資本モ二千萬圓デ七百五十萬圓ノ未拂込ガアルト云フノデスカラ銀行トシテハ非常ニ小サイノデスカラ、相當ノ機會ニ其ノ資力ヲ充實シテ銀行ヲ大キクシテ、増資シテ大キナ銀行ニシテ、サウシテ其ノ餘力ヲ以テ、今專ラ必要デアル所ノ中小工業ノ救済資金ヲ供給シテヤリマシタナラバ、外ノ普通銀行トノ競争ニモ

ナラズ、ソレカラ北海道ノ爲ニ最モ必要ナ適切ナ仕事ガ出來テ、北海道民モ非常ニ喜ブト斯ウ云フヤウナコトニナツテ參リマシテ、彼此非常ニ都合ガ好ク、農民モ是ガ爲ニ間接ノ利益ヲ得ル、北海道ノ爲ニモ非常ニナルト思ッテ、豫々私モ中小工業ヲモウ少シ發達サセルコトニシナケレバイカスト云フヤウナコトヲ唱ヘテ居リマシタ、此ノ機會ニ若シ大體ノ私ノ趣旨ニ大藏省ニ於テモ御賛成デゴザイマシタナラバ、サウ云フヤウナ意味ヲ以テ此ノ短期資金モ必ズシモ取締ッテ行カナイデ、長期資金モ從來ノ使命ヲ全ウシ、短期ノ方モ亦新ニサウ云フ使命モ出テ參リマシタカラ、兩方相共ニウマク之ヲ融和調合シテ、サウシテ此ノ銀行ノ使命ヲ達スルト同時ニ北海道ノ爲ニモナリマシヤウニ、一ツ適當ニ御指導ヲ願ヒ御監督ヲ願ヘレバ非常ニ結構デヤナイカト思ヒマス、是ハマア自分ノ意見ヲ申上ゲル譯デ御答辯ニハ及ビマセスト思ヒマスガ、併シ若シ伺ヘマシタラ伺ヒマシテモ宜シウゴザイマス

○政府委員(入間野武雄君) 中小商工業ノ金融ニ付キマシテハ、年來、政府ト致シマシテモ意ヲ用ヒテ居リマシテ、現ニ損失補償等ヲ致シテ之ガ圓滑ヲ圖ッテ居リマス、北海道ニ於ケル御話ニ付キマシテハ篤ト拜承致シマシタ、北海道及ビ樺太ノ拓殖事業ノ遂行上、其ノ金融ニ付キマシテハ萬遺憾ナキヲ期シテ行キタイト斯ウ存ジテ居リマス

○河田烈君 今藤原委員ノ御話デヒヨット思ヒ付イタノデ、甚ダ思ヒ付キノ質問デスガ、銀行局長カラ色々御話ガアリマシタ跋行景氣、跋行トハ言ヒナガラ、今ノ所謂單需景氣ト俗ニ世ニ稱セラレテ一般ニ景氣ガ出テ居ルガ、是ハ北海道ハドウナンデセウ、東京附近程デハナイト思ヒマスガ、北海道ニ於テモ跋行トハ言ヒナガラ所謂跋行產業ノ影響ヲ受ケタサウ云フモノノ景氣ハドンナモノデゴザイマセウカ、是ハ日本全體ニデナク、北海道ノ地方的ニドシナモノデゴザイマセウカ

○政府委員(入間野武雄君) 北海道ニ於キマシテハ御承知ノ通り爰三年バカリ非常ニ豐作ガ續キマシタ、農家モ大變近頃ハ好イヤウデアリマス、又時局以來色々ノ産業ガ興キテ參リマシタノデ、此ノ方面モ好イヤウデアリマシテ、從ヒマシテ預金等モ相當増加ヲ示シテ居リマス、北海道及樺太ニ於ケル全銀行ノ預金ヲ見マスト、昭和八年ニ三億一千六百餘萬圓、ソレガ昭和十年ニナリマスト三億六千二百餘萬圓ニナリマス、



昭和十三年ノ九月ノ數字ヲ此處ニ持合セテ  
居リマスガ四億七千五百餘萬圓デ、相當増  
加ノ趨勢ニアリマスマヤウニ見受ケラレマス  
○委員長(子爵高橋是賢君) 今日ハ是デ散  
會ヲ致シマシテ、明日午前十時ヨリ引續キ  
御質問ヲ願フコトニ致シマス、今日ハ是デ  
散會致シマス

午前十一時五十一分散會

出席者左ノ如シ

- 委員長 子爵高橋 是賢君
- 副委員長 男爵深尾隆太郎君
- 委員

- 公爵島津 忠承君
- 侯爵筑波 藤鷹君
- 伯爵橋本 實斐君
- 子爵裏松 友光君
- 子爵綾小路 護君
- 小幡 西吉君
- 男爵伊江 朝助君
- 河田 烈君
- 若尾 璋八君
- 稻畑勝太郎君
- 中村圓一郎君
- 磯貝 浩君
- 藤原銀次郎君
- 野村茂久馬君

政府委員

- 大藏參與官 矢野庄太郎君
- 大藏省主計局長 谷口 恒二君
- 大藏省理財局長 相田 岩夫君
- 大藏省銀行局長 入間野武雄君
- 海軍參與官 中原 謹司君